

せらび

第一一九号

— 発行 —

社会福祉法人
せらび後援会
0144-75-2328

第121回理事会が開催される 法人の運営方針や事業計画案、予算案など審議

第121回の法人理事会が3月25日に開催されました。理事会では2022年度事業計画案と予算案を中心に審議が行われ、現在、国が見直しを進めている障害者総合支援法が今後の障害福祉サービスの諸事業に与える影響などについて話し合いました。

今年度の事業計画については、苫小牧市及び千歳市の地域生活支援センターは北海道や各市の委託事業及び補助事業などを例年と同様に行い、地域で暮らすユーザーの相談支援や生活支援に引き続き取り組んでいくこと。4か所の就労支

中で調整することは可能です。変更してからは、時間に追われることが減り、気持ちの余裕が出来たり、新しい作業にチャレンジすることが出来たりなど、今のところは良い点が多いように感じます。今後も、状況に合わせて働きやすさと働き甲斐を考え、就労環境を整えていきたいと思えます。

おまわり活動報告

就労支援センターOmnet

新型コロナウイルスの感染者数が一向に減らず、メンバーの中にも不安を訴える声があり、Omnetでは密を避けるために1月下旬から午前と午後の分散通所を実施しました。まん延防止等重点措置が解除され、4月から通常の体制に戻りましたが、引き続き感染防止対策を徹底していきたいと思えます。

不安な日々は続いています。が、新年度のスタートと共に新しいメンバーが増え、皆で協力

援事業所では、就労継続支援B型事業を行いながら、個々の働き方を尊重し、それぞれのペースで働ける環境を保障しながら、ステップアップが可能なチャレンジ事業も継続するなど、多様な働き方が実現出来るよう諸事業を進めること、一般就労を希望する方への就職や定着が支援できる取り組みにも力を入れていく計画内容となっています。

一方、職員に向けては、制度改正を踏まえて、有給休暇の取得推進や準職員のさらなる待遇改善、キャリア形成に向けた資格取得の支援など、働きやす

しながら日々の作業に取り組んでいます。また、昼食提供の業務委託先が変更になりましたが、メニューも豊富で栄養バランスも良いと大変好評です。食事の大切さを改めて実感しています。

スポーツレク ダーツで大盛況

千歳地域生活支援センター

当センターでは月1回、スポーツセンターにてスポーツを楽しんでいます。コロナの影響で閉館になるなど、いつも通りスポーツを楽しめないことが続いています。何か代わりになるものはないかと検討し、ダーツを購入しました！

そのダーツを使い、先日レクを行いました。ルールはカウントアップ（1ラウンド3役を8回）で、点数の高い人が勝ちというものです。皆さん初心者という状況で、どんな戦いになるかドキドキしましたが、皆さんとてもお上手で続々と高得点ゲット！ダーツボードの中心

い職場環境を整えていくことが確認されました。



春を告げる花 スノードロップ、 ケアセンターアルドール

3月下旬、寒さが和らぎ雪解けが進んだ頃、アルドールの花壇にスノードロップの花が咲きました。事業所名にもなっているスノードロップは春の始まりを告げる花として親しまれています。花が咲いてすぐに大雪が降り、小さな花が潰されてしまわないか心配しましたが、雪が解けると変わらない姿を見せてくれました。小さく可憐な花の強い生命力に驚きとたくましさを感じました。

そんなスノードロップの花言葉には「まさかの時の友」というものがあります。ドイツに伝わる言い伝えでは、『その昔雪には色が付いていなかったが、雪は色が欲しくてきれいな色の花に「色を分けてくれないか?」と相談するに当てる方もいました♪

初めてのダーツレクは大盛り上がりの中幕を閉じました。今後も定期的にダーツを活用したいです。

ヘルパーな声 丁寧な仕事に安心感

苫小牧地域生活支援センター

苫小牧地域生活支援センターでは、ピアヘルパー養成講座のスキルアッププログラムとして清掃等館内整備の生活支援業務を一部業務委託しています。平成29年度から始めて5年が経ちます。最初は仕事の工程を覚えながら大変な苦労をされたかと思いますが、センターに来所した関係者からはいつも「きれいですね」と声をかけていただけの程、丁寧な仕事を続けてくれてます。その姿を見ている利用者からは、「掃除をするピアヘルパーさんが居るだけで安心できる」という声も聞こえていて、作業しながらの会話も対人支援となつている事を実感します。

今月から、また一人チャレンジに挑戦する方がいます。大変

と、色々な花の中でスノードロップだけが応じて、「白い色」を分けてくれた。『この花にはそんな素敵なエピソードがあります。』



【アルドール花壇のスノードロップ】

就労環境を整え、 時間と気持ちにゆとりを 就労支援センターまろにえ

就労支援センターまろにえは、4月から作業時間を変更しました。厨房グループは、これまで午前三時間、午後一時間半の作業時間でしたが、作業量が増え、時間内に終えることが難しくなったり、一人当たりの負担が増えている状況でした。これを解消するため、午後の作業時間を30分延長し、一日の作業時間を5時間としました。利用者個々の状況は多様なため、そのな事もあるかと思いますが、リカバリーやステップアップに繋がるよう応援していきたいと思えます。

支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。

後援会会費

(2022年度分) 亀井寿郎様、藤田雄治様、藤田保子様

2022年度の会費納入にご協力、お願い致します。
年会費は左記の通りです。

- ・個人会費 一口 五千円
- ・団体会費 一口 二万円
- ・賛助会費 一口 三千円